



『Cisco UCS Performance Manager リリースノート』

初版発行日:2016年8月

リリース 2.0.2

シスコシステムズ合同会社

〒107-6227

東京都港区赤坂9-7-1

ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先:シスコ コンタクトセンター

0120-092-255(フリーコール、携帯・PHS含む)

電話受付時間:平日10:00~12:00、13:00~17:00

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>

**【注意】 シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意
(www.cisco.com/jjp/go/safety_warning/) をご確認ください。**

本書は、米国シスコシステムズ発行ドキュメントの参考和訳です。
リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動 / 変更されている場合があります
ありますことをご承ください。
あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サ
イトのドキュメントを参照ください。

また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊
社担当者にご確認ください。

このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザ側の責任になります。

対象製品のソフトウェアライセンスおよび限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されています。添付されていない場合には、代理店にご連絡ください。

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコおよびこれら各社は、商品性の保証、特定目的への準拠の保証、および権利を侵害しないことに関する保証、あるいは取引過程、使用、取引慣行によって発生する保証をはじめとする、明示されたまたは黙示された一切の保証の責任を負わないものとします。

いかなる場合においても、シスコおよびその供給者は、このマニュアルの使用または使用できないことによって発生する利益の損失やデータの損傷をはじめとする、間接的、派生的、偶発的、あるいは特殊な損害について、あらゆる可能性がシスコまたはその供給者に知らされていても、それらに対する責任を一切負わないものとします。

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: <http://www.cisco.com/go/trademarks>. Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1110R)

このマニュアルで使用している IP アドレスは、実際のアドレスを示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、および図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際のアドレスが使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

© 2014-2016 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

このドキュメントについて

『Cisco UCS Performance Manager リリースノート』には、次の製品のマイナー リリースまたはマイクロ リリースに関する重要情報が記載されています。

- Cisco UCS Performance Manager Express
- Cisco UCS Performance Manager

(注) 便宜上、このマニュアルでは、総称して「Cisco UCS Performance Manager」を使用し、「Cisco UCS Performance Manager Express」と「Cisco UCS Performance Manager」の違いを明示的に記載します。

スコープ

このマニュアルでは、Cisco UCS Performance Manager の次のリリースに関する情報を示します。

日付	Cisco UCS Performance Manager
2016 年 8 月 29 日	2.0.2
2016 年 6 月 30 日	2.0.1
2015 年 12 月 04 日	2.0.0

サポートされるクライアントとブラウザの組み合わせ

(注) すべてのブラウザに Adobe® Flash® Player 11 以降のバージョンがインストールされている必要があります。

クライアント OS	対応ブラウザ
Windows 7 および 8.1	Internet Explorer 10 以降 (互換モードはサポートされていません)
	Firefox 30 以降
	Chrome 30 以降
Macintosh OS/X	Firefox 30 以降
	Chrome 30 以降
	Safari 7 以降
Linux/RHEL	Firefox 30 以降
	Chrome 30 以降

リリース 2.0.2

修正済みの問題

ID	説明
ZEN-17522	NetConf 認証が原因で、Cisco Nexus デバイスのモデリングが失敗します。
ZEN-22732	Cisco インターフェイスで ifindex エントリを使用しないと、モデリングでエラーが発生します。
ZEN-22958	データベースパスワードがカスタマイズされた可能性を鑑み、ヘルス チェックを更新します。
ZEN-23802	ISO アプライアンスの新規インストールに、OVA アプライアンスと同じカーネル バージョンがありません。
ZEN-23841	定義する予測しきい値が多すぎる場合、システムがクラッシュします。
ZEN-24023	アップグレード パッチを適用する前に、Cisco UCS Performance Manager が停止していることを確認します。
ZEN-24122	CentOS カーネルが正しいバージョンでない場合、ISO の更新は失敗します。
ZEN-24169	ZooKeeper API エラーが発生したため、アップグレードが失敗しました。
ZEN-24177	アップグレードの後は、名前別にデバイスをモデル化することができません。
ZEN-24346	マスター ホストをアップグレードする前に、まずすべてのエージェントがアップグレードされていることを確認します。
ZEN-24372	アップグレード後に、新しいアプライアンス メニュー オプションが見つかりません。
ZEN-24380	シャーシ コンポーネント グラフに不正な値およびユニットが表示されます。
ZEN-24388	Linux インターフェイス コンポーネント グラフの一部に、「該当なし」という値が表示されます。
CC-2163	対応済みプールに対する論理ボリュームのモニタリングをオフにします。

既知の問題

ID	説明	ステータス
ZEN-16464	ページドロップダウンリストでは、複数のレポートに対して [None] が表示されます。	Open
ZEN-17746	UCS キャパシティ インターフェイス使用率レポートは、UCS インターフェイスに含まれていません。	Open
ZEN-20792	サポートバンドル収集中に、警告に対応しました。	Open
ZEN-20964	vSphere の依存関係の表示は、大量の vSphere デバイスに関してはロードされません。	Open
ZEN-21039	vSphere レポートのクエリを最適化する必要があります。	Open
ZEN-21149	予測しきい値では、過去のデータ用のクエリをバッチ処理する必要があります。	Open
ZEN-21241	SNMP によって監視されるネットワーク デバイスからファンが物理的に削除される場合、イベントは生成されません。	Open
ZEN-21267	不正な UCS セントラルをジョブ ログから削除できないため、更新を行ってログをクリアする必要があります。	Open
ZEN-22135	NetApp で、C-Mode インターフェイス、イーサネット ポート、インターフェイスグループ、および VLAN が正しくモデル化されていません。	Open
ZEN-22136	NetApp で、iSCSI のメトリックがモニタされません。	Open

リリース 2.0.1

新機能

セルフ モニタリング

- Cisco UCS Performance Manager では、アプリケーションおよびその内部機能のセルフ モニタリングを利用できます。アプリケーション管理およびオーケストレーション システムとして、コントロール センターが使用されます。コントロール センターは、内部コンポーネントとそのパフォーマンス データを表示できるように、Cisco UCS Performance Manager 内の管理対象リソースとして自動的に追加されます。

パブリック エンドポイント

- Cisco UCS Performance Manager およびコントロール センターの Web サーバへアクセスするパブリック エンドポイントを作成できます。パブリック エンドポイントはホスト名またはポート経由でアクセス可能な vhost、もしくは ip:port または hostname:port でアクセス可能な vhost となることができます。『Cisco UCS Performance Manager インストール ガイド』を参照してください。

修正済みの問題

ID	説明
ZEN-14201	ダイナミックビューにある個々のネットワーク デバイスのアイコンが一致していません。
ZEN-15564	コンソールから IP アドレスを変更した後、再起動を推奨するバナーが表示されます。
ZEN-15567	初期セットアップ ウィザードに SMTP のセットアップを追加します。
ZEN-18062	デバイス カバレッジの詳細レポートが正確ではありません。
ZEN-18746	グラフ定義の各しきい値が、予測入力を 1 つだけ作成します。
ZEN-20263	CSV ファイルの末尾に予測データを追加します。
ZEN-20437	デバイスにデータがあるかどうかをグラフで示す必要があります。
ZEN-20564	[Dependency View] タブでイベントを表示できません。
ZEN-20875	コンソール メニューで変更した後、タイムゾーンの設定が保存されません。
ZEN-20901	ハードウェア インベントリレポートに、ラック サーバがみつかりません。

ID	説明
ZEN-21064	IP アドレスの間またはホスト名の間、コンマ + スペースが使用される場合、複数の UCS セントラル インスタンスを追加できません。
ZEN-21164	Cisco UCS-M 2.2 (3d) のモデリング中に、トレースバックします。
ZEN-21165	Nexus 9000 では、[Add Infrastructure] ウィザードで「NX-API」が示されます。
ZEN-21483	10 以上の UCS シャーシが設定されている場合、データ表示の問題が発生します。
ZEN-21600	[Network Capacity] ポートレットでは、ポート チャネルのパフォーマンスが表示されません。
ZEN-21835	通知トラップは常に v2 として送信されます。
ZEN-22018	Nexus 9000/NXAPI はポート チャネルから統計をモニタしません。
ZEN-22177	移行サービスでセキュリティが悪用されています。
ZEN-22182	UCS の「ストレージクラウド」FCoE アップリンクは、トポロジ表示ではストレージのアップリンクとして表示されます。
CC-1791	コントロール センターは、廃止予定の SHA1 証明書をデフォルトで使用しています。

既知の問題

ID	説明	ステータス
ZEN-16464	ページドロップダウンリストでは、複数のレポートに対して [None] が表示されます。	Open
ZEN-17522	NetConf 認証が原因で、Cisco Nexus デバイスのモデリングが失敗します。	2.0.2 で修正済み。
ZEN-17746	UCS キャパシティ インターフェイス使用率レポートは、UCS インターフェイスに含まれていません。	Open
ZEN-20792	サポート バンドル収集に、警告に対応しました。	Open
ZEN-20964	vSphere の依存関係の表示は、大量の vSphere デバイスに関してはロードされません。	Open
ZEN-21039	vSphere レポートのクエリを最適化する必要があります。	Open
ZEN-21149	予測しきい値では、過去のデータ用のクエリをバッチ処理する必要があります。	Open
ZEN-21241	SNMP によって監視されるネットワーク デバイスからファンが物理的に削除される場合、イベントは生成されません。	Open
ZEN-21267	不正な UCS セントラルをジョブ ログから削除できないため、更新を行ってログをクリアする必要があります。	Open
ZEN-22135	NetApp で、C-Mode インターフェイス、イーサネット ポート、インターフェイス グループ、および VLAN が正しくモデル化されていません。	Open
ZEN-22136	NetApp で、iSCSI のメトリックがモニタされません。	Open
ZEN-23802	ISO アプライアンスの新規インストールに、OVA アプライアンスと同じカーネル バージョンがありません。	2.0.2 で修正済み。

リリース 2.0.0

バージョン 2.0.0 へようこそ。このリリースには、Cisco UCS Performance Manager の主な拡張機能である新しいコンポーネントである「コントロール センター バージョン 1.1.0」、および 1800 以上の修正が含まれています。さらに、このリリースにはいくつかの新しいドキュメントも含まれています。Cisco UCS Performance Manager バージョン 2 をぜひご活用ください。

新機能

アーキテクチャ

- Cisco UCS Performance Manager は、現在、コントロール センターでインストールされ、管理されています。コントロール センターは、アプリケーションのパッケージ、インストール、管理をシンプル化するために仮想コンテナを使用するオープンソース プラットフォームである Docker 上に構築されています。コントロール センターは、Web ベースのユーザ インターフェイス、および対応済みコマンドライン オプションの両方を提供します。
- Cisco UCS Performance Manager デーモンは、個々の仮想 Docker コンテナ内で実行されます。コンテナは、アプリケーションを実行するために必要なすべてを備えた負荷の少ない動作環境です。
- パフォーマンス測定指標は RRD ファイルではなく、OpenTSDB と Hbase に保存されています。
- ログ ファイルは、表示と検索を向上させるために、Logstash 経由で回収され、ElasticSearch データベースに保存されます。

キャパシティプランニング

- キャパシティ使用率のグラフと表示は、30、60、90 日間の予測使用率を表示します。
- Cisco UCS のキャパシティレポートおよび新規/既存のグラフでは、近似曲線を表示できます。
- キャパシティ使用率は、vSphere で使用できます。
- レポートは、ポート チャネル、物理サーバ、またはシャーシでフィルタリングできます。

インフラストラクチャの相互運用性

- [Dependency View] では、依存関係のリスト、および選択されたデバイスの依存関係を提供します。
- ポートツーポートのマッピング情報は、ファブリック インターコネクトを LAN クラウドへアップリンクする場合に使用できます。

デバイス サポート

- Cisco UCS Mini と Cisco UCS Central がサポートされています。
- NX-API が有効になっている場合、Nexus 9000 がサポートされます。

使いやすさの改善

- 帯域幅使用量のビューでは、ハイパーバイザ、および VM の情報が表示されます。
- 新しいウィンドウで表およびグラフのオープンもしくはサイズの変更ができます。
- ヘルス、パフォーマンス、VM の統計、ディスク I/O 統計に対する追加のホスト メトリックを使用できます。
- 新しいダッシュボードのポートレットに含まれるものは次のとおりです。
 - [Service Profile] ポートレット
 - [Storage Capacity] ポートレット
 - [Network Capacity] ポートレット
- 事前定義された UCS のしきい値が、デフォルトで提供されます。
- ポート チャネルのアグリゲーションプールを表示できます。
- 次の組織コンテナを使用できます。
 - ホストグループ
 - 統合インフラストラクチャグループ
 - コンポーネントグループ
- イベントは、コンテナレベルで表示できます。
- メトリックの収集間隔は、UCS ドメインで設定することもできます。

セルフ モニタリング

- コントロール センターのモニタ機能。

LDAP/AD のサポート

- LDAP/AD ドメインのクレデンシアルを使用して、Cisco UCS Performance Manager にログインする機能。

ライセンス

- 猶予期間では、ライセンスの待機中に製品を構成することができます。
- 一度に複数のライセンスをアップロードする機能。

拡張性

- 単一の UCS PM インスタンス上で、最大 2,500 台の UCS サーバ、関連するネットワーク、およびストレージをサポートします。

移行

1.1.X から 2.0.0 に移行するための移行ツール (UI) が提供されます。詳細については、『Cisco UCS Performance Manager 移行ガイド』を参照してください。

既知の問題

ID	説明	ステータス
ZEN-14201	ダイナミックビューにある個々のネットワーク デバイスのアイコンが一致していません。	2.0.1 で修正済み。
ZEN-16464	ページドロップダウンリストでは、複数のレポートに対して [None] が表示されます。	Open
ZEN-17746	UCS キャパシティ インターフェイス使用率レポートは、UCS インターフェイスに含まれていません。	Open
ZEN-20792	サポート バンドル収集中に、警告に対応しました。	Open
ZEN-20875	コンソール メニューで変更したタイムゾーン設定を保存できません。	2.0.1 で修正済み。
ZEN-20901	UCS ハードウェア インベントリレポートで、すべてのラック サーバがみつかりません。	2.0.1 で修正済み。
ZEN-21064	IP/ホスト間でコンマ + スペースが使用される場合、複数の UCS セントラルを追加できません。	2.0.1 で修正済み。
ZEN-21164	Cisco UCS-M 2.2 (3d) のモデリング中に、トレースバックします。	2.0.1 で修正済み。
ZEN-21165	Nexus 9000 では、[Add Infrastructure] ウィザードで「NX-API」が示されます。	2.0.1 で修正済み。
ZEN-21241	SNMP によって監視されるネットワーク デバイスからファンが物理的に削除される場合、イベントは生成されません。	Open
ZEN-21267	不正な UCS セントラルをジョブ ログから削除できないため、更新を行ってログをクリアする必要があります。	Open

A

制限、正誤表およびドキュメント

ここでは次の内容について説明します。

- Cisco UCS Performance Manager の既知の制限
- リリース固有のドキュメントの正誤表(ある場合)
- 追加ドキュメントの説明

制限事項

(ZEN-15907) CentralQuery の最大メモリ割り当てプールのサイズは、CentralQuery サービス定義の `RAMCommitment` 変数によって設定されます。デフォルト値は 1024 MB です。1024 MB より小さい値に変更しないでください。

その他の情報

Cisco UCS Performance Manager のすべての配布分には、次の文書の PDF 版が含まれています。

- *Cisco UCS Performance Manager インストール ガイド*
- *Cisco UCS Performance Manager 移行ガイド*
- *Cisco UCS Performance Manager スタートアップ ガイド*
- *Cisco UCS Performance Manager ユーザ ガイド*
- *Cisco UCS Performance Manager アドミニストレーション ガイド*

同様に、コントロール センターのすべてのリリースには、HTML バージョンのドキュメントが含まれています。

リリースに含まれるドキュメントは、リリースと同期しています。つまり、リリース ノートに正誤表を挿入するのではなく、ドキュメントのエラーを修正し、その修正済みドキュメントをアップグレードまたはパッチ リリースに含めます。同様に、アップグレードまたはパッチ リリースに機能変更や追加が含まれると、ドキュメントも更新されます。

マニュアルに関するフィードバック

このマニュアルに関する技術的なフィードバック、または誤りや記載もれなどお気づきの点がございましたら、ucs-docfeedback@cisco.com ドキュメント内のフィードバック フォームよりご連絡ください。ご協力をよろしくお願いいたします。